

【オリコンサル、佐賀・江北町で実証実験 速度超過警告表示など交通安全対策効果検証】

速度超過警告表示など 交通安全対策効果検証

オリコンサル、佐賀
・江北町で実証実験

オリエンタルコンサルタ
ンツは11日、佐賀県江北町
と連携・協働し、交通安全
対策効果を検証する実証実
験を行ったと発表した。仮
設スムーズ横断歩道と、電
光掲示板への速度超過に対
する警告表示の二つの取り
組み。ドライバーの安全運
転意識が向上し、速度抑制
の効果を得られたことが分
かった。

実証実験は2022年12
月1～6日に実施した。江
北町内のうち、警察庁と道

路管理者が連携して最高時
速30^キに規制する生活道路
「ゾーン30プラス」の登録
を目標している地区が対象
となった。実証実験ではス
ムーズ横断歩道と、AIカ
メラと連携させたLED電
光掲示板の二つを組み合わ
せた。

スムーズ横断歩道は、横
断歩道の路面を盛り上げる
ことで歩道と同じ高さにな
り、子どもなどが横断する
際に運転者が検知しやすく
なる仕組み。LED電光掲
示板は、生活道路を走行す

る車両の速度をAIカメラ
で判別し、時速30^キの規制
速度を超過した車両に対し
て路肩に設置したLED電
光掲示板で超過を警告す
る。

二つの対策を実施してい
る生活道路では、対策がな
い生活道路と比較して、時
速40^キ以上の速度で走行す
る車両が17%減少すること
を確認した。対象地区を走
行したドライバーへのアン
ケートでは、LED電光掲
示板で速度超過を表示され
た場合に94%のドライバー
が「速度を落とすことと思っ
たと回答。ドライバーの安全
運転意識が向上する効果も
確認した。